

Doc.No : NR040330

2004年3月30日

立命館大学および中国・上海交通大学との包括的な研究協力協定に調印

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区／社長：石田 明)は、立命館大学(総長：長田豊臣氏、本校：京都市北区)および上海交通大学(学長：謝 繩武(シャ・ジョウブ／Xie Shenwu)氏、本校：中国上海市華山路)と包括的な研究協力協定を結ぶことで合意し、3月16日に調印しました。

これは、当社が産学連携の研究活動および中国での事業展開を拡大するため、国際化と海外の大学との研究交流を推進している立命館大学と、同大学が中国におけるネットワーク強化の拠点とし、情報技術分野でも優れている上海交通大学と包括的協定を結ぶ運びとなったもの。今後、この研究協力協定を足掛かりとして、さまざまな分野で投資が増大していくと予想される中国における当社の事業展開に向けて、現地の優秀な技術者の支援を得られる環境を構築する予定です。

この協定による主な活動としては、「共同研究の実施」「共同のシンポジウム・研究会等の開催」「研究者・技術者等の交流」「学生への教育的活動と支援」「その他各機関が必要と認め合意した活動」を掲げており、すでに具体的な研究テーマとして「液晶関連装置に関するコンピューター解析」を三者の連携で始めています。当社はこの研究により、大型装置の開発には不可欠なコンピューターシミュレーションを強化することによって、当社製品の品質と市場競争力の向上を図ります。

■立命館大学

1900年創立。「国際化」、「情報化」、そして「開放化」をキーワードに、多くの専門分野にわたる総合的な教育が行われており、文部科学省の重点政策「21世紀COEプログラム*」の拠点に4件が選定されるなど、研究教育実績が高く評価されている。また、企業や政府行政機関等との産官学交流による学問研究にも大きな力を入れている。

学校法人立命館は、2つの大学、3つの高等学校、3つの附属中学校を擁する総合学園。

URL: <http://www.ritsumei.ac.jp/>

*「21世紀COEプログラム」

「大学の構造改革の方針」(平成13年6月)に基づき、平成14年度から文部科学省によって実施。世界的な研究教育拠点の形成を重点的に支援し、国際競争力のある世界最高水準の大学づくりを推進するため、補助金を交付するもの。

■上海交通大学

中国の著名な理工系総合大学の一つ。1896年に創立され、数々の世界的な研究者を輩出。

企業と積極的に連携してさまざまな研究活動を進めており、中国の情報技術における発展に寄与。特に複合材料、通信・電子システム、船舶・海洋工程、自動制御などの分野では、世界でもトップレベルの研究水準を誇っている。江沢民氏の母校としても有名。

URL: <http://www.sjtu.edu.cn/>



調印式の模様 (3月16日 上海交通大学)

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、
下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/nr-photo/>)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目